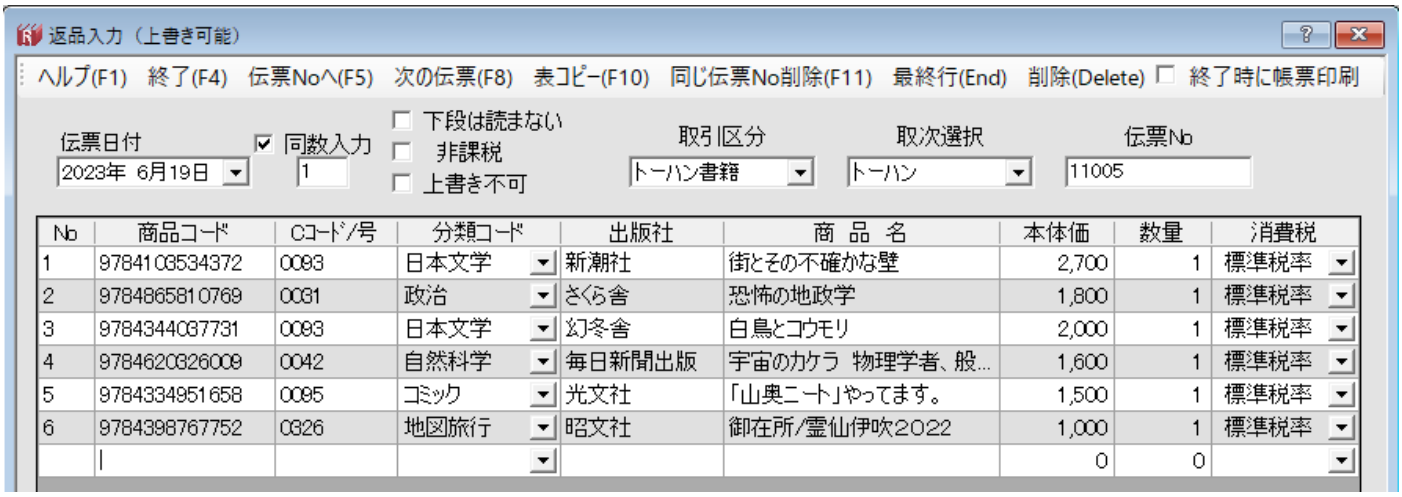
返品入力

このような場合に使用します。

- 単品管理をするために、返品数を入力するとき
- 返品数を記録したいとき
- 雑誌定期改正をする為に返品データを入力するとき
- 返品未入帳の管理チェックができます――→返品チェック



メニューバー

- 伝票 No へ(F5)：伝票 No 欄へカーソルが移動します
- 次の伝票(F8)：伝票 No がひとつ加算されます
- 表コピー(F10)：入力値をコピーしてエクセル等に張り付けることができます。
- 同じ伝票 No 削除(F11)：表示中の同じ伝票 No のデータを削除します。
- 最終行（End）：最終行にカーソルを移動します。
- 削除(Delete)：選択行を削除します。
- 終了時に帳票印刷：チェックすると「終了(F4)」を選んだ時に入力リストをプレビュー画面から印字できます。

選択項目

- 伝票日付：伝票日付右の▼をクリックするとカレンダーが開き、その中の日付をクリックすることで伝票日付の設定ができます。
- 同数入力：チェックするとその下に冊数入力欄が表示されます。その入力値が数量として登録されます。同じ冊数を入力するときに使います。
- 下段は読まない：書籍でバーコードの下段を読まないときにチェック。商品元帳未登録値やＣコード・本体価格が登録されているときはＣコードと本体価格の入力が必要です。
- 非課税：非課税商品入力時にチェックします。
- 上書き不可：チェックすると登録済行の値を変更できなくなります。多量連続入力する際、間違って PageUp キーなどを触った際のご入力を防止できます。
- 取引区分：リストから該当項目を選択。該当値がないときは、あらかじめ取引区分で登録してください。
- 取次選択：リストから選択。該当取次がないときは、あらかじめ取次元帳で登録してください。
- 伝票 No：伝票ナンバーを入力。数字のみ入力できます。

入力項目

- 商品コード
  - 書籍：バーコード上段、もしくは ISBN を入力
  - 雑誌：雑誌バーコード、もしくは雑誌コード(5 桁)を入力
  - JAN 商品・洋書：バーコード(JAN13 桁)を入力
- C コード/号
  - 書籍：バーコード下段、もしくは C コード(4 桁)を入力
  - 雑誌：号数を入力。（例、10、10/30、1030）

以下、分類コード、出版社、商品名は商品元帳値もしくはネット参照します

- 分類コード：変更可能（商品元帳に記録されるのは新規コードのみ）
- 出版社：変更可能（商品元帳に記録されるのは新規コードもしくは出版社名未登録時）
- 商品名：変更可能（商品元帳に記録されるのは新規コードもしくは商品名未登録時）
- 本体価：書籍バーコード下段、雑誌バーコードアドオン、登録データから参照。いずれも該当しないときは入力
- 数量：同数入力チェック時以外は冊数を入力
- 消費税：変更する場合は選択（同数入力チェック時はチェックを外してから）

入力した値は商品履歴に記録されます。